

ドナー登録にご協力を!

はじめに、新型コロナウイルスや大雪の影響を受けた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。これらの災害による影響はまだ続いておりますが、この間も骨髄バンクを介した移植治療は粛々と進められています。(公財)日本骨髄バンク広報部によると、令和2年4月に緊急事態宣言が発出されたころはドナー登録者数、移植数も減りましたが、その後、徐々に回復したものの骨髄移植数は減少したままであるとのことです。骨髄移植を必要とする患者さんも新型コロナウイルスの患者さん同様、命がけで闘っています。まずは、ウイルス対策をしっかりと行いながら健康にご留意頂き、一人でも多くの方にドナー登録のご協力をお願い申し上げます。

理事長 齋木桂子

【ドナー登録できる方】*骨髄・末梢血幹細胞移植提供の内容を十分に理解している方*18歳から54歳までの健康な方*体重が男性45kg以上、女性40kg以上の方*詳しくは(公財)日本骨髄バンク03-5280-1789まで

「私の骨髄ドナー体験記」

上越市在住 林 文

登録したのは15年以上前。忘れた頃にドナー候補者に選ばれたという連絡が来ました。初めのうちは「私もついに人の役に立てる!」という思いでいましたが、手術の日程や手術内容の説明を聞くうちに、入院中の子どもたちの世話への不安や手術に対する恐怖で、正直少し迷いました。ですが、夫や母、そして子どもたちの協力に後押しされ、ほんの少しの負担で人の命を助けることができるならと骨髄提供を決意しました。



手術前、提供する患者さんの回復を願いながらも緊張しつつ手術に臨みました。手術後は、全身麻酔が身体に合わず、つわりのような気持ち悪さが1日中続きましたが、手術の痛みはほとんどなく、これで闘病中の患者さんの希望になれるのなら、もう一度提供したいと思いました。後日、患者さんからお手紙をいただきました。日程の都合で県外の病院での提供となった矢先、コロナ感染症の流行が始まり、通院や入院時の苦勞も多くなりましたが、患者さんからのお手紙を読んで、無事に提供できて本当に良かったと心から思いました。私のドナー体験は、患者さんの為だけではなく、私自身にとっても命について考える貴重な体験となりました。今でも時々思い出し、私の骨髄が誰かの身体の中で血液を作っているのだと考えると、少し自分に自信がつき、勇気もらっています。

◆骨髄移植体験記

「一人の善意が未来の命を紡いでいく」 上越市在住 宮本 吉裕

「5年生存率は27%です」と医師に宣告されてから16年が経ちました。

私は10歳の時から再生不良性貧血を患い、22歳で母から骨髄移植を受けるまでの間、病気と向き合う日々を過ごしてきました。健康な友人達と違い、生活の至る所で制限をされ、若い私にはとても苦痛でした。死ぬかもしれない絶望感と、元気になりたいという希望を抱え、母からの骨髄提供をうけ幸いにも元気になることができました。

現在は家庭を持ち仕事では起業してから11年目になる会社を経営しています。

こうして沢山の人達と時間を共にしながら充実した毎日を送れている理由は紛れもなく病を経験し、生きることがかけがえのないものだとして深く感じる事が出来たからです。

一人の母から貰った2度の命を持って余すことなく、精一杯人生を生きていくことで、私の家族や社員、取引先など背景にいる沢山の人の役に立つことに幸せを感じています。

困っている人を助ける一人の善意が大きな好循環を生んでいくのだと実感できました。

二人の子供にも恵まれ、休みにはクタクタになるまで大好きなゴルフを楽しみ、職場では仲間とビジョンに向かって汗を流し、働けることがとても幸せです。

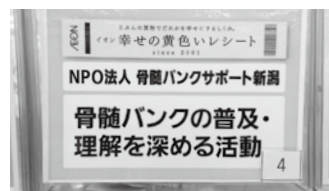


イエローレシートキャンペーンにご協力ください!



毎月11日にイオン上越店でお買い物をすると、黄色いレシートが出てきます。そのレシートを当法人のボックスに入れて頂くと、イオン上越店からレシートの金額総合計の1パーセントが当法人にギフトカードで送られるシステムです。このキャンペーンは、地域のボランティア団体を支援する取組みとして

2001年より全国のイオンで実施され、2020年2月までの贈呈相当額は約40億5,914万円にも上ります。当法人もイオン上越店のご厚意により毎年約7万円分の賞品引換券を頂き、その殆どを「タオルハンカチ贈呈事業」に使っています。新型コロナウイルスの関係で店頭でのお声かけはできませんが、どうか、このキャンペーンにご協力をお願いします。



「日本骨髄バンク説明員資格を取得して」 関 美由紀

『再発です』。

娘が2年前に白血病を発症し、移植を経て昨年退院しました。そして1年経った今年の5月に前述の言葉を聞きました。私達は前を向けず、ただ泣くばかりでした。抗がん剤の治療と移植がどんなに凄いものかを知っているからです。2回目の移植では骨髄バンクのドナーさんが確認検査まで受けてくださったのですが、コロナ禍の関係でなかなか進まずに、結局臍帯血移植を行いました。なんとなく、悔しくて・悲しくて。

娘のために・同じように闘病している患者さんのために何かできないだろうか。そんな時に骨髄バンク支援員のことを知り、骨髄バンクサポートさんに連絡を取らせてもらいました。

説明員資格取得の現地研修では、とても緊張しましたが、先輩の皆様のサポートでなんとか説明をさせていただきました。説明が終わった途端に張り詰めていた緊張が不安に変わりましたが、「今日登録してくださった方がどなたかの患者さんのドナーになったとしたら、嬉しいよね」先輩支援員のもその一言で喜びとやりがいになりました。

血液は人工で作ることができません。血液疾患の患者さんは、人でしか救うことができません。人の優しさで、沢山の患者さんが娘が救われますように。この気持ちで活動してまいりたいと思います。よろしく願いいたします。

◆活動報告

👑チャリティーゴルフコンペ

コロナ禍の中、開催が危ぶまれましたが、3密を避ける工夫をして、令和2年10月3日、石地シーサイドカントリーにて行いました。閉会式を行わず、ホールアウトした方から順に賞品をお渡しする形をとりました。意外とゆっくりお礼が出来て、これはこれでいい形だなと感じました。参加見合わせの企業があったりしましたが、29名もの参加をしていただき無事開催出来ました。また、参加できないが募金して下さいました方や、他のゴルフコンペの主催者から寄付をいただいたりしました。厚く御礼申し上げます。多くの方のお気持ちを大切に活動に役立てていきたいと思えます。以下賞品の協賛いただいた企業をご紹介します。(齋木秀雄)

【順不同敬称略】花の米、菊水酒造、ゴルフショップ小山、ひなの宿ちとせ、武蔵野酒造、大島グループ、能登屋茶店、レ・ドゥー、ニノックススノーパーク



😊語り部講演会

令和2年11月13日(金)長岡市立東中学校の2、3年生230名に『骨髄バンクを正しく知ろう』というタイトルで理事長齋木桂子が講演をしました。この学校は新潟県のがん教育指定校に選ばれており、中学1年からがんについて学んでいるので白血病への理解や、治療法としての骨髄移植について興味深く聞いて貰えました。〇×クイズで知識を習得して頂き、ドナー登録や献血への協力を呼び掛けたところ、多くの生徒さんから質問や前向きな意見を頂き、有意義な時間を共有させて頂きました。コロナ禍において、万全な対策で迎えて下さった学校の皆様に心より感謝申し上げます。(齋木桂子)



👑語り部講演会

令和2年12月15日十日町市立下条中学校、12月16日長岡市立希望が丘小学校にて「ドナーになれば誰かの命を救うことができるかもしれない」のタイトルで語り部をしてきました。骨髄移植と骨髄バンク(ドナー)の話聞いた中学生が書いた感想の一文です。「ドナー登録をぜひやってみようという気持ちと、ちょっと怖いなという気持ちがあります。」などがありました。学校でがん教育が進む中、語り部事業は、子どもたちががんの予防や骨髄バンクなどについて考えるよい機会となっています。(渡邊雅之)



下条中学校での様子

👑書籍贈呈

今年度は上越市内の6学校(市立大手町小学校・市立東本町小学校・市立南本町小学校・市立黒田小学校・市立城北中学校・市立城東中学校)と語り部に伺った長岡市立東中学校・十日町市立下条中学校合わせて8学校へ送ることができました。骨髄バンクや命に関する書籍、小学校には、「チャーリーブラウンなぜなんだい?」「小学生のボクは、鬼のようなお母さんにナスを売られました。」「ほくのいのち」「わたし、がんばったよ。」「電池が切れるまで」「おかえり! めいちゃん」「あきらめないで」の7冊。中学校にはプラス「僕が骨髄提供をした理由」・「そして歩き出す」の2冊を選びました。多くの学生の皆さんから、手に取ってもらい骨髄バンクや命について考えてもらえる機会を得てもらえればうれしいです。(石井智子)

😊タオルハンカチ・文具の贈呈

今年も県立中央病院・長岡赤十字病院・県立がんセンター新潟病院へイオン上越店から「幸せの黄色いレシートキャンペーン」で頂いたタオルハンカチ(120枚)と、院内学級のある2病院には、お絵描き帳と折り紙(40セット)を贈らせていただきました。今回もクリスマスプレゼントに間に合うように準備し、新型コロナウイルス感染への配慮により郵送しました。クリスマスの院内イベントは中止になったかもしれませんが、少しでも患者さんが前向きに笑顔になってもらえればと願っています。頑張りましょう!!(小林昌美)



👑ボランティア育成の報告

11月5日当法人事務局にて説明員資格取得の座学を、11月11日糸魚川市役所での献血併行ドナー登録会にて実地研修を行い、お一人の方が説明員になりました。説明員としてのご活躍を期待しています。(小林昌美)

まごころからのご寄付をありがとうございました

(2020年5月1日～2021年1月15日まで)

- 南雲康至様 ○高倉栄様 ○井澤敏子様 ○大島誠様 ○楡井辰雄様 ○横山美春様 ○松澤政子様
- 本間道雄様 ○岩崎由香子様 ○安藤早苗様 ○(有)長谷川不動産センター様 ○山本孝子様
- 笠原真理様 ○大平洋特殊鑄造労働組合様 ○笠原あき様 ○高館紀子様 ○金井芳子様
- 折笠智子様 ○畔上義弘様 ○(株)平林塗装様 ○星野登美子様 ○信楽園病院様 ○阿部正廣様
- 小池和子様 ○鈴木茂様 ○齋木美恵子様 ○小林洋子様 ○梅谷守様 ○ぐみけんカップ様
- 田村正幸様 ○岩田雅己様 ○西山和代様 ○樋熊みちよ様 ○正木順子様 ○南雲正一様
- (株)ランドスタッフ様 ○大山知子様 ○上石喜代子様 ○松矢公子様 ○市川正様 ○木澤百合子様
- 大嶋紘一様 ○高澤大介様 ○田中登志夫様 ○上原浩治様 (順不同)

◆ご寄付のお願い—当法人の活動は皆様方の善意に支えられています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。◆

- 銀行口座 新潟県労働金庫 高田支店 普通 5485124
- 郵便振替口座 00500-5-97142 NPO法人骨髄バンクサポート新潟

◆日本骨髄バンクの現状 (2020年10月末現在)

患者の状況	人数	ドナーの状況	人数
患者登録者数(累計)	60,396	登録受付ドナー数(累計)	841,763
患者登録現在数	1,841	ドナー登録現在数	530,157
HLA適合患者数(累計)	48,033	HLA適合報告数	332,758
新潟県現在登録者数	29	新潟県現在登録者数	9,262

- *患者登録現在数は、患者登録数(累計)から登録取消された患者数および移植実施患者数を引いた数です。
- *HLA適合報告ドナー数は複数適合したドナーの数を差し引いた実適合ドナー数を表示しています。

◆お知らせ

👑クラウドファンディングへの出資

映画「みんな生きている～二つ目の誕生日～」制作プロジェクトのためのクラウドファンディングの目的が「骨髄移植のことを知ってほしい、一つでも多くの命が救われてほしい」という、白血病を克服した糸魚川市出身の俳優樋口大吾さんのメッセージに賛同し、10万円出資しました。完成した映画のエンドロールに当法人の名前が流れますので、ぜひご覧ください。

◆骨髄バンクへのお問い合わせ

☎03-5280-1789 日本骨髄バンク

◆会費納入をお願いします

納入がまだの方は、お早めにお問い合わせいたします。また、お知り合いの方へのお声掛けにより、新規会員の増加にご協力をいただけますようお願いいたします。さらに、寄付付き自動販売機の設置についてもご協力宜しくお願いいたします。自動販売機の設置については、お気軽にお問い合わせ下さい。

【事務局】025-546-7337 メール kbsniigata@gmail.com



◆NPO法人 骨髄バンクサポート新潟 入会のご案内

正会員	賛助会員
個人一口 2,000円より 団体一口 10,000円より	個人一口 2,000円より 団体一口 10,000円より
ボランティア活動を一緒にして下さる方 総会での議決権あり	資金援助をして下さる方 総会での議決権なし

【賛助会費、寄付の振込先】

郵便振替口座 00500-5-97142
加入者名 NPO法人骨髄バンクサポート新潟
*一口2,000円で何口でも可能

特定非営利活動法人 骨髄バンクサポート新潟 HP <http://kbsniigata.jimdo.com>
〒943-0805 上越市木田2-3-11-5 ☎ 025-546-7337 FAX 025-546-7338 Mail kbsniigata@gmail.com